

こんにちは もうり 栄子です



アツという間に桜が咲き、新年度がスタート！真新しいカバンや制服姿のキラキラ輝く子ども達にふれ励まされる昨今です。コロナの第4波が県下を襲うなかワクチン接種が始まりました。ワクチン頼みに陥ることなく3密を避け手洗いマスクなどの予防策もとりつつPCR検査を拡充し、この難局を一緒に乗り越えましょう。

2月議会は1兆円を超える大型予算を審議しました。県民の苦難に心を寄せ、コロナから命を守る、一人一人の暮らしと営業を守る立場で一般質問、委員会質疑をさせていただきました。

コロナ感染者を受け入れている公立・公的病院の統廃合は容認できない

年末年始、第3波は急速に広がり医療機関がひっ迫する危機的事態に陥りました。各地の公立・公的病院は入院患者をベッド数を増やして受け入れ、懸命に治療にあたっていたいただきましたが、国はこの期に及んでも病院の統廃合を名指して

強引に押し進めようとしています。絶対に容認できないと問うと、知事は「医療機関の役割分担と連携強化が進むよう、医療圏ごとの関係者間での丁寧な議論を促していく」と答弁。大事な病院を守っていくことが必要です。

デジタル化で住民サービスは？ 個人情報保護やセキュリティ対策は？

デジタル庁創設でデジタル化が一気に進められようとしています。県はスマート自治体をすすめるとして県と市町村で事務の共同化を推進。行政データを国が一元管理し、民間活用するようになれば地方自治がないがしろにされ職員削減や民営化がすすみきめ細かな住民サービスの後退にならないか、またプライバシーの保護やセキュリティ対策はどうかと質

問。

企画振興部長は「人口減少や職員確保が困難ななか質の高いサービスを安定的に提供するために推進。パソコンにデータを保存せず、情報漏えいや不正アクセスに備える」と答弁。

LINE情報が中国に漏れていた事件も起こっており心配です。

水資源保全地域のさらなる拡大を

県は平成25年に水源を乱開発から守るために「豊かな水資源の保全に関する条例」を制定し山林を守って水資源の保全に努めています。この条例は市町村から申請がないと適用できないため県内94の水源地中23水源地しか指定されていません。

諏訪地域では下諏訪町の汁垂地区の約14ヘクタールが指定されているのみ。さらに拡大をと問うと水大気環境課長は「市町村に意向調査をやっているが、地権者の把握に困難している状況」と答弁。

貴重な水資源を県もかかわりつつ、しっかり守って欲しいと求めました。

高校生が授業で使うタブレット端末の個人負担の再検討を

小中学校のICT教育では、一人1台のタブレットを公費で購入していますが、県教委は突然、新高校1年生から個人購入で用意する方針を示しました。コロナ禍で生活環境が困難になる中、入学時の出費にさらなる負担を強いることはいかか。教育上必要なものなら公費で措置すべきと求めると教育長は、さまざまな課題があり、令和3年度はスマホまたはタブレットで対応する、令和4年の入学生からタブレットが望ましいと答弁。予算のわずか0.12%で措置できると知事に公費購入を迫ると、知事は「予算編成権は私にある。県の方針を固めたい」と答弁。全国では12の県が公費で購入し、貸与しています。

党県議団がコロナ対策などで県内団体と懇談

2月議会に向けて党県議団は、コロナ感染の拡大で経営困難に直面している中小商工業者、観光、医療、農業や建設関係など幅広い団体と懇談し、現状や要望をお聞きしました。

県看護協会長との懇談では、看護現場は人手不足に加えて先が見えない状況にあり、医療従事者の使命感だけでは限界があるとし、今後、ケアの土台づくりが必要なことなど貴重な懇談の場になりました。



県看護協会の松本あつ子会長と懇談（1月15日）

